

基本方針4．社会で支える健康づくりの推進

(1) 基本的な考え方

人々の健康は、社会的環境の影響を受けることが指摘されており、特に人とのつながりやコミュニケーションは健康の維持・増進に重要な視点となっています。

すべての住民が健康に対する知識を深め、気軽に健康づくりに取り組むことができるよう、一人ひとりのヘルスリテラシー^{※36}の向上に向けた取組を推進するとともに、健康を支える環境を整備する必要があります。

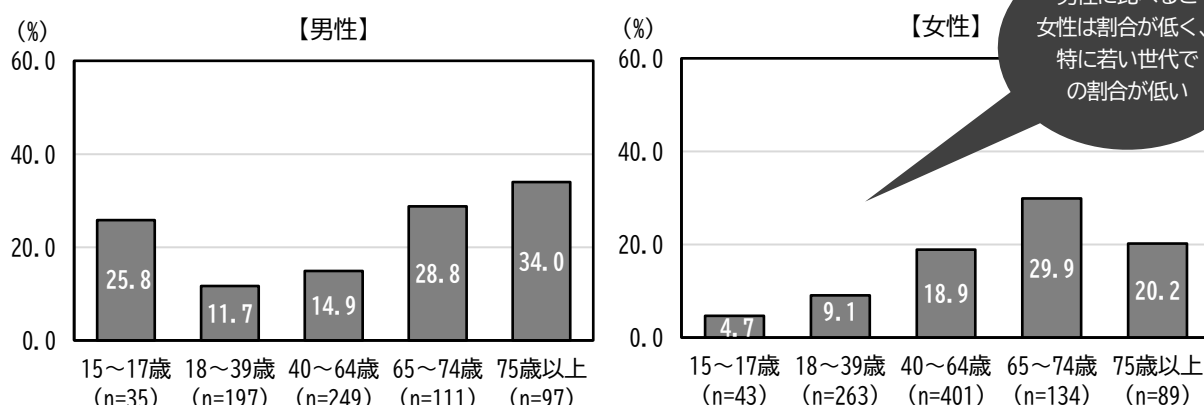
また、健康寿命の延伸に向けて、健康に関心のない人を含め、無意識のうちに健康に望ましい行動をとることができるよう、自然に健康になれる環境づくりという視点からの取組も求められます。

(2) 現状と今後の課題

【本市の現状】

- 第2次計画の評価をみると、「地域の人たちとのつながりが強いと思う人の割合」は、令和5年度（2023年度）調査では18.1%で平成24年度（2012年度）調査の23.3%から減少しています。性別でみると、女性の割合が低い傾向にあり、特に若い世代の割合が低くなっています。
- 第2次計画の評価をみると、「ボランティアや地域活動、自主活動などに参加したことのある市民の割合」は減少し、悪化の評価となっています。
- 第2次計画の評価をみると、「健康づくりに協力してくれる店等の数」、「企業等に対して健康診査、検診の受診勧奨を行う件数」、「保健推進員の養成数」はいずれも増加しており、健康づくりを支援する環境整備が進みつつあります。

〈図39〉地域のつながりが強いと思う人の割合



資料：「刈谷市健康づくりに関する調査（令和5年度）」

³⁶ ヘルスリテラシー：健康や医療に関する正しい情報を入手し、理解して活用する能力のこと。

【今後の課題】

■ 地域のつながりの強化

人々の健康は、その人を取り巻く社会環境に影響を受けることが知られており、地域コミュニティをはじめ社会的なつながりを持つことや様々な社会活動への参加は健康づくりにおいて重要です。

特に、全国的に人口減少が大きな課題となる中、自分の住む地域で子育てをしたいと思う人を増やしていくことは、地域の持続性、コミュニティの活性化につながる大事な視点となっています。

人口減少や地域とのつながりの希薄化が進む中で、地域における居場所づくりの推進や、社会活動の受け皿となる地域活動団体やボランティア活動への支援などの社会環境の整備が求められます。

■ 自然に健康になれる環境づくり

健康寿命の延伸に向けては、健康に関心の薄い人を含んだ幅広い層に対し、どのようにアプローチしていくかが大きな課題となっています。ウォーキングしやすい環境やふれあいの場の創出など、散歩や出かけたくなるようなまちづくりを進めていくことが求められます。望まない受動喫煙の防止も含め、市民一人ひとりが気軽に健康づくりを実践するための環境づくりが重要です。

■ 健康経営の推進

市民の健康づくりの推進には、行政のみならず企業等の多様な主体による取組が必要とされています。国内有数の産業都市として、自動車関連産業を中心に多くの事業所が立地している本市の特徴を鑑みると、市内の事業所における健康経営の推進は、働き盛り世代に対する健康づくりを促進し、市民の健康状態の向上、ひいては健康寿命の延伸につながる重要な取組です。健康経営を進める事業所への支援など、取組のさらなる充実が求められます。

（３）取組の方向性と目標・指標

①ソーシャル・キャピタルの醸成

- 市民が社会とのつながりを持ち、心身ともに健康的な暮らしができるよう、地域における居場所づくりや交流の推進を図ります。
- 市民が様々な社会活動に主体的に参加できるよう、地域活動団体やグループ、サークル等への支援を行うとともに、健康づくりを支える人材の育成、活躍の場の創出・拡大に向けた取組を進めます。

②健康づくりに取り組みやすい環境づくり

- 市民が気軽に健康づくりに取り組めるよう、外出や身体を動かすことができる機会、また自然とふれあうことができる場の創出などに取り組みます。
- 企業における健康経営を支援し、仕事や家事等に忙しい世代が自然に健康づくりに取り組める環境づくりを推進します。

《目標・指標と具体的な取組》

目標	指標		現状値 (令和5年度)	目標値 (令和16年度)
地域の人たちとの つながりが強い人 を増やす	地域の人たちとのつな がり強いと思う人の 割合	15歳以上	18.1%	23.0%
	【目標達成に向けた取組】 ・地域活動団体等への支援 ・ボランティア活動への支援 ・地域における居場所づくり、地域交流の推進 ・多様な主体同士の連携の推進			
目標	指標		現状値 (令和5年度)	目標値 (令和16年度)
この地域で出産・ 子育てをしたいと 思う親を増やす	刈谷市はこどもを生み育 てやすいと思う人の割合	18歳以上	86.3% (令和4年度)	90.0%
	【目標達成に向けた取組】 ・ファミリー・サポート・センターの運営 ・子育てサークルの育成、支援 ・地域活動の担い手づくり ・子育て支援団体等のネットワークづくり ・民生委員・児童委員の活動支援 ・地域とのつながりを意識した開かれた園・学校づくり			
目標	指標		現状値 (令和5年度)	目標値 (令和16年度)
健康づくりを支え る人を育てる	保健推進員1年目研修受講者数(累計)		789人	950人
	健康づくり推進員の養成数(累計)		384人	460人
	地域へのスポーツ推進委員派遣回数		32回	36回
	【目標達成に向けた取組】 ・ホームページ等による活動の周知啓発 ・健康づくりを支える団体との交流推進 ・スポーツ推進委員の指導者派遣			

目標	指標		現状値 (令和5年度)	目標値 (令和16年度)
自然に健康になれる環境づくりを進める	刈谷駅周辺の公共空間（みなくる広場、きたくる広場、ウイングデッキ、カリマチストリート、大手公園）を活用したイベント実施数		79 回	93 回
	公共交通（鉄道、バス、タクシー、デマンド交通）利用者数（延べ数）		21,923 千人	26,662 千人
	ウォーキングコースが設置されている公園数		5 箇所	8 箇所
	インクルーシブ遊具 ^{※37} が設置されている公園数		0 箇所	4 箇所
	【目標達成に向けた取組】 ・ホームページ、チラシ等による周知啓発 ・事業所等を通じた周知啓発 ・かりや健康マイレージ事業の拡充 ・刈谷市路上喫煙の防止に関する条例の推進 ・まちづくり活動への参加促進 ・まちなかの公共空間を活用したにぎわい創出イベントの実施支援 ・まちなかの滞在環境の向上 ・公共施設連絡バス「かりまる」の充実、再編・運行体系の見直し ・バス停待合環境の改善 ・公共交通を利用したお出かけ機会の創出 ・公園施設の充実			
目標	指標		現状値 (令和5年度)	目標値 (令和16年度)
健康経営を行う事業所を増やす	かりや健康づくりチャレンジ宣言事業所数	市内事業所	171 事業所	270 事業所
	かりや健康づくりチャレンジ宣言表彰対象事業所数	かりや健康づくりチャレンジ宣言認定事業所	41 事業所	80 事業所
	メンタルヘルス対策に取り組んでいる事業所の割合《再掲》	かりや健康づくりチャレンジ宣言認定事業所	88.0%	94.0%
	企業等と連携した健康経営事業所への支援件数（延べ数）		0 件	10 件
	【目標達成に向けた取組】 ・かりや健康づくりチャレンジ宣言事業所に対するアフターフォローの実施 ・実施報告書の提出率の増加に向けた呼びかけ ・事業所等との情報共有・連携の推進 ・事業所等に対する制度の周知啓発			

※37 インクルーシブ遊具：障がいの有無にかかわらずすべてのこどもが遊べる遊具のこと。